

議事

(1) 令和7年度男女共同参画事業について

資料1、別紙1、別紙2、別紙3、別紙4、別紙5、別紙6

●小学生への職業講話について

【委員】長年努力されている小学生への職業講話ですが、小学生からとても良い感想がでていいる。仕事に性別は関係ない、と小学生の高学年から気づくことができるととてもいい。今まで希望する学校が少ないのが残念だ、という話がでていましたが、希望する学校が増えてきたのはとても嬉しいことです。高学年の、はっきりとした意思が示せるくらいの子どもたちに、もっともっと見て聞いていただけたらいいかなと思います。

事業所アンケートで、職業講話をしてくれる方がいますか、の設問で「ない」と答えるところがとても多かったのは残念です。

【委員】学校が増えたのは本当にいいと思います。心に響いてくれるといいと思いますが、これも何回か続けていく中で変わっていくのかな、と思います。

●中学生への取組について

【委員】皆さんご存知のように、小中学校で教員不足と言われていいます。特に中学においては技術、家庭科、美術の先生が不足していいます。不足した学校は免外申請といって、教科の免許を持っていない方に特別免許をだすことがあります。免許を持っていない方が指導するのはなかなか大変だと思います。資料2を見ると、園児や小学生への活動はありますが、中学生向けのものはない。そんな時に、例えば家庭科の授業に講師の先生が入り、これからも育児はお父さんとお母さんが協力して育てていくことが大事なんですよと講話をする等、授業の一部を担うような、そんな活動もできるのではないかと、思いました。

●市民向けセミナーについて

【委員】市民向けの講座は極力参加するようにしているが、いつも人数が少ないので、皆が気になるような、来たくなるような策を考えたらいいのではないのでしょうか。

【委員】私も今年の市民向けセミナーに参加しました。どうしたら集客できるかということを見ると、やはりプラスワンで何かあるといいかもしれないですね。

(2) 令和8年度男女共同参画事業について 資料2

●ハラスメント防止に関する意識啓発

【委員】ハラスメント防止に関する意識啓発というところで、来年も行うとのことですが、今年度は研修を行っているというお話がありましたが、啓発活動を行うことによって良くなったことや、満足度を測ることはしていますか。

【事務局】事後のアンケートを取り、理解度等を確認することはしているのですが、その後、どのように行動が変わったか等の研修の効果についての確認はしていません。

【委員】今年度は課長級の職員を対象としたということですが、市長や部長級職員の方に対して行うのもいいかと思いましたが。課長級職員というと、上司と部下の中間でとても大変というイメージがありますが、上司の理解がないと課長も対応に悩むことがある

と思いますので、まずは上層部から順々に研修を受けた方がいいのではないのでしょうか。

【委員】研修の結果について、その効果が表れているのかどうか確認するというのは非常に興味深いところです。研修を受けた方がいる部署、同じフロアにいる部下に、研修の前後で変わったところがあるか聞いてみるとかいいですね。難しいかもしれませんが、何か効果が見えるといいなと思います。

(3) 第5次菊川市男女共同参画プラン策定について 資料3

●第5次プランの新しい視点について

【委員】継続して事業に取り組むと同時に、新しい要素を加えるのはいいと思います。どんな言葉で、皆がいい、というものは今少し思いつきませんが。

【委員】継続して事業を続けていて、だんだん結果が現れてきていますが、Well-beingの考え方などを取り入れると、また考え方が新しくなると思います。

講評

テーマ：よりよい企画づくりのための“対話”

対話とは「フラットな関係のもとで行われる、役職や立場をこえたコミュニケーション」という認識のもと、今年度実施した市民向けセミナーを題材に、よりよい企画にしていくためのアイデアを出し合った。

まず“対話”について共通の認識を持ったうえで、セミナーのテーマである「男女共同参画」についてのネガティブなイメージを出し合い、それをポジティブなイメージに変換するアイデアを出し合った。

ネガティブなイメージは、近寄りづらい、女性が働くことの強制、言葉が難しい、差別ありき、硬さがある、他人事に感じる等が挙げられた。このイメージをポジティブなものにするためには、軽さ、楽しさ、気軽さ、親しみやすさ、誘いやすさ、参加型、（おやつ、お茶等）プラスワン、自分事としてとらえること等が挙げられ、より多くの方に興味を持って参加してもらえる企画作りについて考える機会となった。